



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R4.9.1 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/> 岡村小学校で検索

陽光・月光

校長 川村 真弘



父と2人で深夜、イカ釣りに出掛けたことがある。亡き父との思い出だ。イカの習性を利用して、仕掛けの浮きにはライトが灯る。暗闇の海に浮かぶその光点は波に揺れ、儚げな蛍のようだ。イカ釣りの穴場の海岸には、父と2人だけ。深閑、闇中の地は、海を前にして背後はそびえる岸壁だ。岸壁は海に近接するので、立ち位置は際どく危うい。

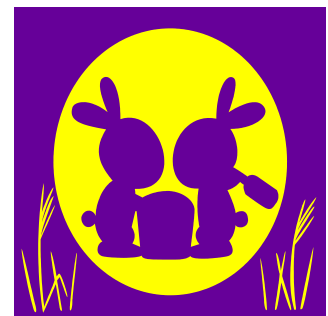
漆黒の闇に繰り返す微かな波音。僕らはじっと「あたり」が来るのを待つ。この場所は海水浴場として開放されているから、昼間は全く趣が違う。それが、深夜ともなると、まるで別世界なのだ。

やがて、そそり立つ岸壁の上に月が出てくる。暗闇は月光で少しずつ海岸線を明らかにし幻想的な景色へと変貌していく。このとき、月光が、実は明るいことにおそらく誰もが感動する。そして、いつもと同じ場所も風景も地面できえも、陽光の下、月光の下では違って見えることも感慨深い。

私たちの学び、生き方も同じことなのだと思う。見方を変え、想いを変え、あるいは時や状況を変えると、同じことが違って見えてくるはずだ。岡村小学校で学ぶ子どもたちに味わってほしいことのひとつだ。

今月の満月は中秋の名月。風情を感じながら、いつもと違う新たな発見をしてほしい。ある満月の晩に、私は植木鉢や物干し竿でできた月光による鮮明な影に驚き感激したことがある。物事を柔軟にとらえ、違う見方の出来る感性を磨き、新たな発見の出来る人でありたい、そう思う9月、秋である。

「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」である。



今夏の新型コロナ感染症並びに想定をこえた天候の影響等で甚大な被害により亡くなられた方々へ衷心より深くご冥福をお祈りいたします。罹患、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。ご尽力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。私たち小学校も、子ども、保護者と協働して引き続き感染予防、危機管理に邁進いたします。

横浜市立岡村小学校教職員・PTA 一同